

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 2000172589
PUBLICATION DATE : 23-06-00

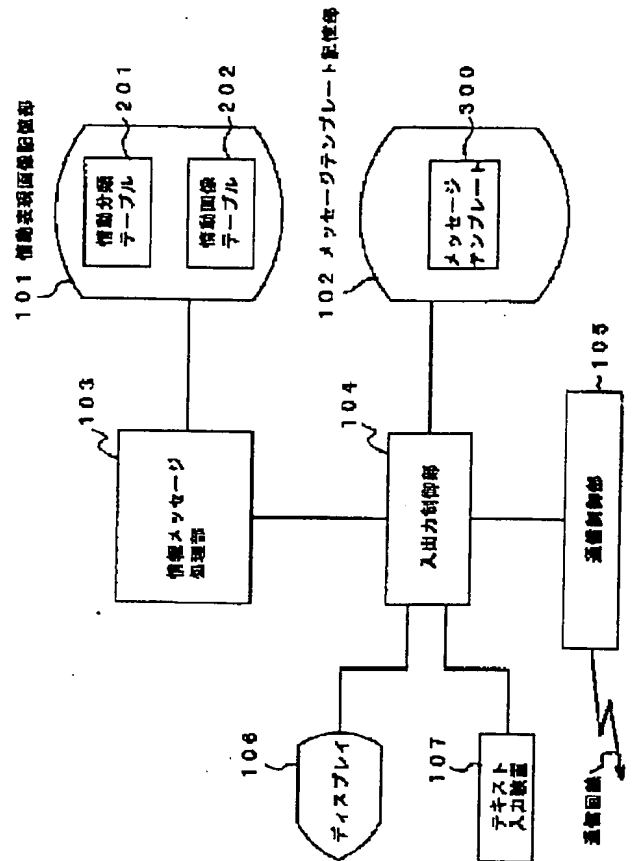
APPLICATION DATE : 09-12-98
APPLICATION NUMBER : 10350527

APPLICANT : NIPPON TELEGR & TELEPH CORP
<NTT>;

INVENTOR : NAKANO HIROTAKA;

INT.CL. : G06F 13/00 H04L 12/54 H04L 12/58

TITLE : EMOTION IMAGE COMMUNICATION
METHOD AND DEVICE, AND
RECORDING MEDIUM RECORDING
EMOTION IMAGE COMMUNICATION
PROGRAM



ABSTRACT : PROBLEM TO BE SOLVED: To easily and properly transmit its own emotion to the opposite party together with a message in a message transmission/reception system.

SOLUTION: The emotion expressions are sorted into plural types, and the identification ID and an emotion image are associated with each other and prepared at the transmitting and receiving sides respectively. At the transmitting side, the ID corresponding to an emotion expression and selected by a user is added to a message and transmitted. At the receiving side, an emotion image corresponding to the ID that is added to the message is selected and presented to the user together with the message.

COPYRIGHT: (C)2000,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-172589

(P2000-172589A)

(43) 公開日 平成12年6月23日 (2000.6.23)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	特許出願公開番号
G 0 6 F 13/00	3 5 1	G 0 6 F 13/00	3 5 1 G 5 B 0 8 9
			3 5 1 A 5 K 0 3 0
H 0 4 L 12/54		H 0 4 L 11/20	1 0 1 B 9 A 0 0 1
12/58			

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平10-350527

(22) 出願日 平成10年12月9日 (1998.12.9)

(71) 出願人 000004226

日本電信電話株式会社

東京都千代田区大手町二丁目3番1号

(72) 発明者 米村 俊一

東京都新宿区西新宿三丁目19番2号 日本
電信電話株式会社内

(72) 発明者 中野 博隆

東京都新宿区西新宿三丁目19番2号 日本
電信電話株式会社内

(74) 代理人 100073760

弁理士 鈴木 誠

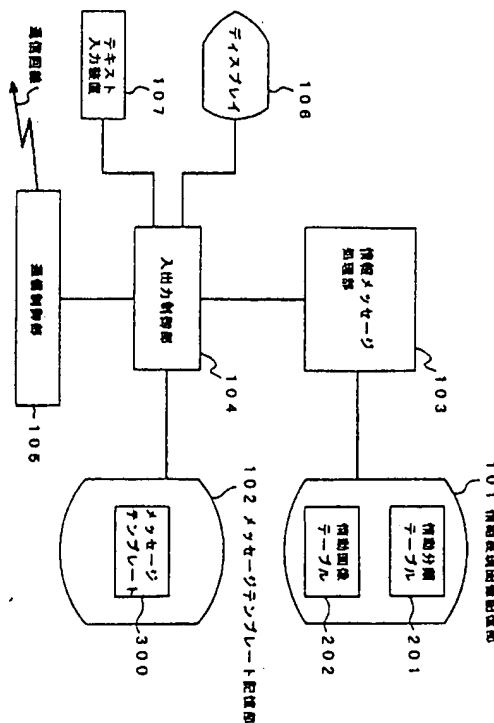
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 情動画像通信方法、情動画像通信装置及び情動画像通信プログラムを記録した記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 メッセージ送受信において、メッセージとともに、容易にかつ適切に自分の情動を相手に伝達する。

【解決手段】 情動表現を複数種類に分類し、識別IDと情動画像とを対応づけて、あらかじめ送信側と受信側で互いに用意し、送信側では、利用者が選択した情動表現に対応する識別IDをメッセージに付加して送信し、受信側では、メッセージに付加された識別IDに対応する情動画像を選択し、メッセージとともに該選択した情動画像を利用者に提示する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 情動表現を複数種類に分類し、識別IDと情動画像とを対応づけて、あらかじめ送信側と受信側で互いに用意し、

送信側では、利用者が選択した情動表現に対応する識別IDをメッセージに付加して送信し、

受信側では、メッセージに付加された識別IDに対応する情動画像を選択し、メッセージとともに該選択した情動画像を利用者に提示する、ことを特徴とする情動画像通信方法。

【請求項2】 情動表現を複数種類に分類し、識別IDと情動画像とを対応づけて格納した手段と、

送受信メッセージの書式を規定するメッセージテンプレートを格納する手段と、

メッセージテンプレートに基づき送信メッセージを作成し、該送信メッセージに利用者が選択した情動表現に対応する識別IDを付加して送信する手段と、

受信メッセージに付加された識別IDに対応する情動画像を選択し、メッセージテンプレートに基づいてメッセージと該選択した情動画像を組み立て利用者に提示する手段と、を具備することを特徴とする情動画像通信装置。

【請求項3】 情動表現を複数種類に分類し、識別IDと情動画像とを対応づけて保持することで、情動表現をメッセージとともに送受信するための情動画像通信プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、

利用者が選択した情動表現に対応する識別IDをメッセージに付加して送信するプロセスと、

受信されたメッセージに付加された識別IDに対応する情動画像を選択し、受信メッセージとともに利用者に提示するプロセスと、が記録されていることを特徴とする記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、画像メッセージの送受信に係り、詳しくは、予め用意した複数種類の情動画像から自分の感情に適合する画像を選択してそれをメッセージとともに相手に提示する情動画像通信方法及び装置、並びに、情動画像通信プログラムを記録した記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、画像メッセージの送受信において、送り手の情動を相手に伝える方法としては、文章の中に自分の現在の情動を表現する文を書き込む方法や、括弧や不等号などの記号を組み合わせることによって現在の情動を表現する顔文字を作成し、それをメッセージ文書に書き込む方法などがある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】文章の中に自分の情動

を表現する文を書き込む方法では、情動を適切に表現する文章を新たに作成する必要があるため、表現上の困難さ、および文書作成の煩雑さを伴うという問題がある。

また、括弧や不等号などの記号を組み合わせる顔文字を構成する方法では、顔文字の種類に限られ、情動の種類が網羅的でないため、自分の情動を必ずしも適切に表現しきれないという問題がある。

【0004】本発明の目的は、画像メッセージの送受信において、上記従来の問題を解決し、容易に自分の感情を相手に伝える情動画像通信方法及び装置、並びに、情動画像通信プログラムを記録した記録媒体を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は、情動表現を複数種類に分類し、識別IDと情動画像とを対応づけて、あらかじめ送信側と受信側で互いに用意しておき、送信側では、利用者が選択した情動表現に対応する識別IDをメッセージに付加して送信し、受信側では、メッセージに付加された識別IDに対応する情動画像を選択して、メッセージとともに該選択した情動画像を利用者に提示するようにしたことである。これにより、容易に且つ適切に、自分の情動を相手に伝えることが可能になる。

【0006】

【発明の実施の形態】以下、本発明の一実施の形態について図面を参照して説明する。図1は、本発明による情動画像通信装置の一実施例を示すブロック図である。本情動画像通信装置は情報表現画像記憶部101、メッセージテンプレート記憶部102、情動メッセージ処理部103、入出力制御部104、通信制御部105、ディスプレイ106及びテキスト入力装置107から構成される。このような情動画像通信装置の端末が通信回線を通して相互に接続され、画像メッセージの送受信が行われる。

【0007】情動表現画像記憶部101は情動分類テーブル201と情動画像テーブル202を格納しており、図2にその具体例を示す。情動分類テーブル201は、図2(A)に示すように、あらかじめ定めた情動表現対応に、情動の識別ID、情動の分類情報、情動表現画像IDを格納しており、情動画像テーブル202は、図2(B)に示すように、情動表現画像ID対応に実際の情動表現画像を格納している。

【0008】情動の認知については様々な知見があるが、中でも顔写真から、誤りなく情動を認知できるような感度の高い情動の分類法として、Woodworthによる6種類のカテゴリー分類が知られている。図2は、このWoodworthによる6種類のカテゴリー分類に基づいているが、必ずしも情動画像は6種類である必要はない。

【0009】メッセージテンプレート記憶部102は、本情動画像通信で使用するメッセージ書式を規定するテ

ンプレート（メッセージテンプレート）300を格納しており、図3にその具体例を示す。メッセージテンプレート300は、図3に示すように、ヘッダ情報表示領域301、本文テキスト表示領域302、及び、情動画像表示領域303からなる。

【0010】以下、図1乃至図3について、本発明の情動画像通信の動作例を説明するが、ここでは、電子メールの送受信を行う場合の動作例を示す。

【0011】まず、送信側について説明する。利用者は、ディスプレイ106の表示画面上のボタン選択やテキスト入力装置107からのファンクションキー入力等により、送信用メッセージ作成の指示を行う。送信用メッセージ作成指示を受けて、入出力制御部104により、メッセージテンプレート記憶部102から図3に示すようなメッセージテンプレート300が読み込まれ、ディスプレイ106に表示される。利用者は、ディスプレイ106に表示されたメッセージテンプレート300にあわせて、テキスト入力装置107よりテキスト文書を入力する。入力されたテキスト文書は、入出力制御部104を介してディスプレイ106に表示される。

【0012】さらに、利用者は、情動画像を相手に提示するために、ディスプレイ106の表示画面上のボタン選択やテキスト入力装置107からのファンクションキー入力等により、情動分類メニュー表示の指示を行う。これにより、入出力制御部104を介して、情動分類メニューのダイアログがディスプレイ106に表示される。図4は、情動分類メニュー表示の様子を示したものであり、例えば、メッセージテンプレートに重ねて情動分類メニュー400が表示される。利用者は、このダイアログ表示された情動分類メニュー400から目的の動情を選択する。ここでは、「驚き」が選択されたとする。この利用者により選択された動情（驚き）に対応する識別ID（ここでは、E02）は、入出力制御部104に一時記憶されると共に情動メッセージ処理部103へ送られる。情動メッセージ処理部103では、送られた識別IDをキーとして、図2（A）に示すような情報分類テーブル201より情動表現画像IDを検索し、検索された情動表現画像ID（ここではPE02）をキーとして、図2（B）に示すような情動画像テーブル202を検索し、該検索された情動画像を入出力制御部104に送り返す。この情動画像は、入出力制御部104に一時記憶されるとともに、テキストテンプレート300で決められたとおりの書式に組み立てられ、ディスプレイ106に表示される。図5は、このときのディスプレイ106の表示の様子を示したものである。

【0013】利用者は、ディスプレイ106の表示画面により、目的の情動画像が所定の書式に組み立てられたのを確認して、テキスト入力装置107によりメッセージ送信コマンドを入力する。これは、ディスプレイ106の表示画面上の送信ボタン等を選択することでもよ

い。このメッセージ送信コマンドの入力により、選択された情動画像の識別IDを含む送信メッセージが、入出力制御部104を介して通信制御部105へ送られ、該通信制御部105より通信回線を介して相手情動画像通信装置の端末へ送信される。

【0014】次に、受信側の動作について説明する。相手端末より電子メールが通信線を介して通信制御部105に送られてくる。この送られてきたメッセージの例えばヘッダ情報の中に、相手利用者の情動画像の識別IDが含まれている。受信されたメッセージは、入出力制御部104に一時蓄積される。これと同時に、メッセージに含まれる情動画像の識別ID（ここではE02）が情動メッセージ処理部103に送られる。

【0015】情動メッセージ処理部103では、情動表現画像記憶部101から図2（A）に示すような情動分類テーブル201を読み込み、入出力制御部104から送られた識別IDと一致する識別IDが存在するか照合する。照合の結果、もし、該当識別IDが存在すれば、情動メッセージ処理部103は、該識別IDに対応する情動表現画像IDをキーに、情動表現画像記憶部101の図2（B）に示すような情動画像テーブル202から目的の情動表現画像を読み出し、その画像を入出力制御部104に送る。なお、照合の結果、もし、該当識別IDが存在しなかった場合には、情動メッセージ処理部103はヌルコードを入出力制御部104に送る。

【0016】一方、メッセージテンプレート記憶部102より、図3に示すようなメッセージ設計用のテンプレート300が入出力制御部104に読み込まれる。入出力制御部104では、受信された電子メールに含まれるヘッダ情報やメッセージ本文を、メッセージテンプレート301で決められたとおりの書式に組み立てると同時に、情動メッセージ処理部103より送られてきた情動表現画像を同じくテンプレートの書式にしたがって組み立てる。入出力制御部104において、メッセージテンプレート301で指定されたとおりに組み立てられた情報は、ディスプレイ106に送られて表示される。図6は、ディスプレイ106上のメッセージ文の表示例を示したものである。当然のことながら、これは図5と同じである。

【0017】以上本発明の一実施例について説明したが、図1の構成は、所謂コンピュータのハードウェアやソフトウェア資源を利用して実現されるものである。そして、情動メッセージ処理部103、入出力制御部104及び通信制御部105の処理機能や手順（プロセス）は、コンピュータで実行可能な形式のプログラム（情動画像通信プログラム）として、フロッピーディスクやメモ리카ード、CD-ROMなどに記録して提示することが可能である。

【0018】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、

メッセージの送受信において、容易に且つ適切に自分の感情（情動）を相手に伝えることができる。また、メッセージには情動画像にかえてその識別IDが付加されるだけであるため、情報量の増加はほとんどないに等しい。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による情動画像通信装置の実施例を示すブロック図である。

【図2】情動分類テーブルと情動画像テーブルの一例を示す図である。

【図3】メッセージテンプレートの一例を示す図である。

【図4】情動分類メニューの表示例を示す図である。

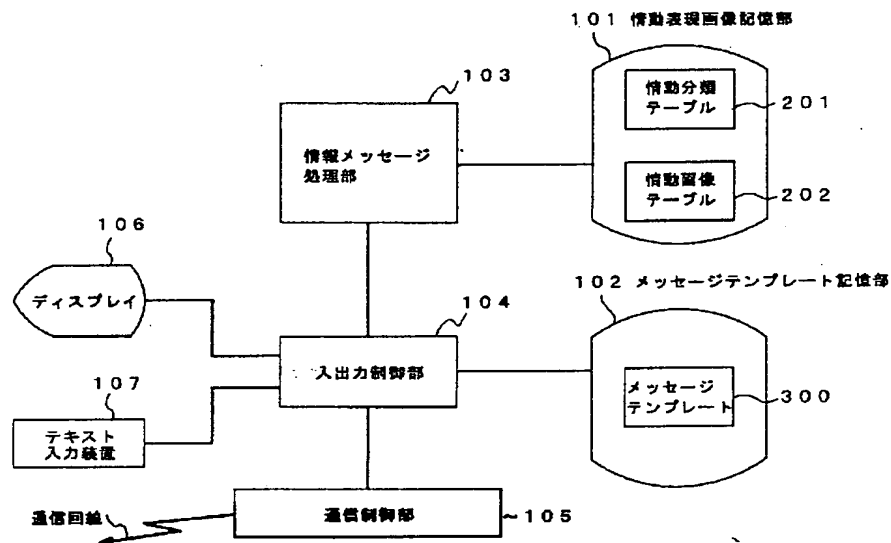
【図5】送信側の画面表示例を示す図である。

【図6】受信側の画面表示例を示す図である。

【符号の説明】

- 101 情動表現画像記憶部
- 102 メッセージテンプレート記憶部
- 103 情動メッセージ処理部
- 104 入出力制御部
- 105 通信制御部
- 106 ディスプレイ
- 107 テキスト入力装置
- 201 情動分類テーブル
- 202 情動画像テーブル
- 300 メッセージテンプレート

【図1】



【図2】

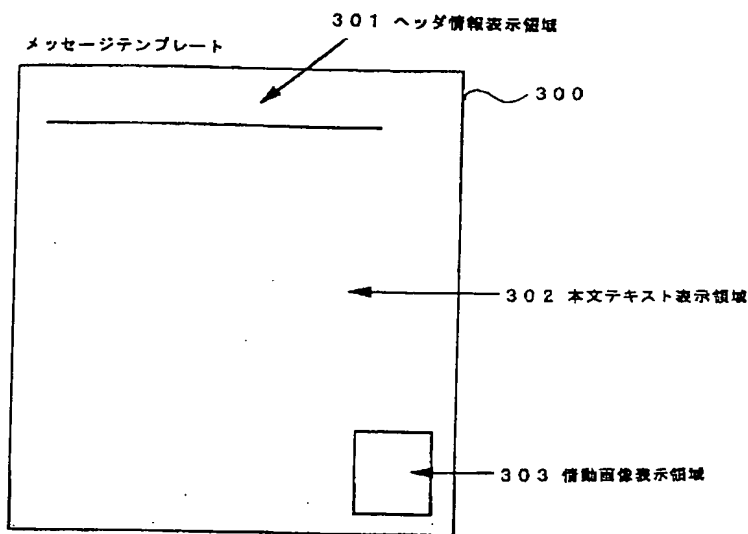
(A) 情報分類テーブル

識別ID	情動の分類	情動表現画像ID
E01	喜び・幸福	PE01
E02	驚き	PE02
E03	恐れ・苦しみ	PE03
E04	怒り・決意	PE04
E05	嫌悪	PE05
E06	感嘆	PE06

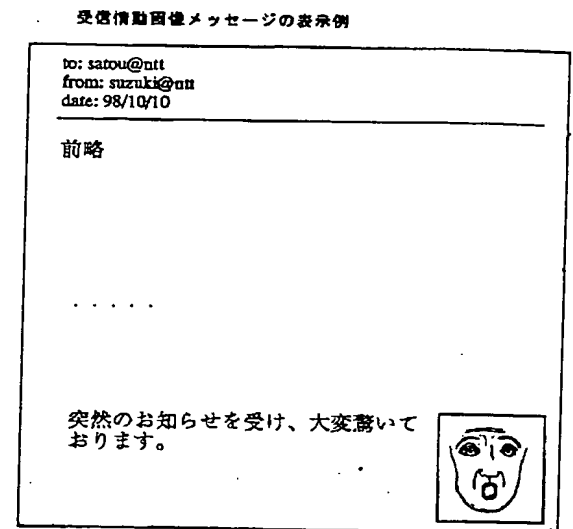
(B) 情報画像テーブル

情動表現画像ID	情動表現画像
PE01	
PE02	
PE03	
PE04	
PE05	
PE06	

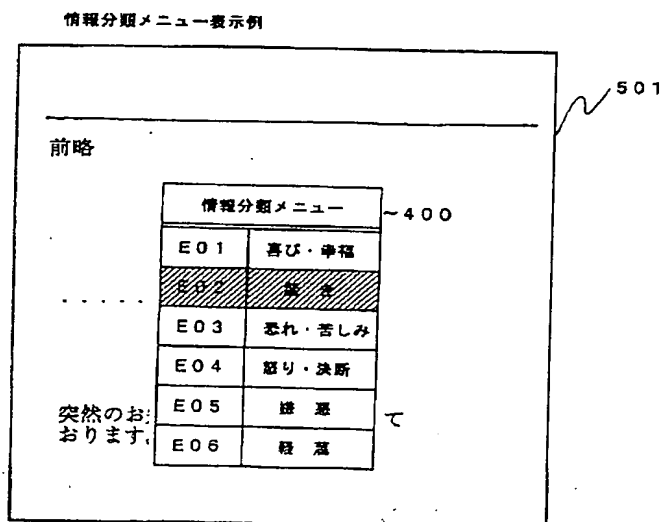
【図3】



【図6】



【図4】



【図5】


送信情報画像メッセージの作成例

to: satou@nif
from: suzuki@nif
date: 98/10/10

前略

.....

突然のお知らせを受け、大変驚いて
おります。



フロントページの続き

F ターム(参考) 5B089 GA21 GB04 HA01 JA31 JB01
KA01 KB06 LB04 LB14
5K030 GA18 HA05 HB02 HB16 JT02
KA06 LE12
9A001 HZ30 JJ14